

すばる

通所リハビリ施設「茶釜の湯」が完成 7月9日に完成式典

介護老人保健施設すばるの通所リハビリ施設「茶釜の湯」が完成し、7月9日に完成式典を行います。また、7月11日と12日に一般公開します。

茶釜の湯は、地下1500㍍まで掘削、湧出した天然温泉「茶釜の湯」を活用し、温泉療法とリハビリにより、高齢者が在宅で元気に暮らすためのお手伝いをする施設です。

施設は敷地約8794平方㍍で、茨城県産の銘木、八溝杉をふんだんに使った木造一部鉄骨平屋建て約1959平方㍍の建物で、木の温もりと香りが感じられる建物です。

式典は、「茶釜の湯」完成と併せ、関係者や地域の人たちを招いて、医療法人達生堂城西病院開院35周年、社会福祉法人筑西会開設30周年も祝います。

天然温泉「茶釜の湯」は、慢性的な筋肉や関節の痛み、疲労回復などに効果があり、美肌効果があるとされています。施設に隣接した「茶釜の足湯」は、引き続き一般に開放していきます。

問い合わせは「すばる」Tel 0296-21-2088

平成28年6月29日

